

2022年度(令和4年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	70.91	23.64	3.64	1.82
女子	52.54	27.12	15.25	5.08

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	75.00	16.07	1.79	7.14
女子	55.93	28.81	13.56	1.69

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	66.07	25.00	5.36	3.57
女子	36.67	40.00	16.67	6.67

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.17	16.93	28.23	40.80		9.26	158.00	23.47		女子	16.00	16.76	32.64	40.83		9.71	150.98	12.14	

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未満

重点課題および要因

情意面

・普段運動をしていない児童が男女ともに多い。運動場が児童の人数に対して狭いため、できる遊びが限られていることやタブレットが配布されたことなどが原因として考えられる。

体力面

・男女共に長座体前屈の結果が県平均・全国平均を下回っている。運動機会が少なく、ストレッチをする機会も少ないことが原因ではないかと感じる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・長座体前屈の再測定を全学年実施し、柔軟性向上への意欲をもたせる。

体育の授業以外で行う取組内容

・校内でストレッチタイムを設け、柔軟体操をする機会を多く取り入れる。また、柔軟性を高めることにより、けがの防止や運動技能の向上など多方面にいい影響があるということを学年実態に応じて話し、柔軟性の必要性を感じさせる。

2023年度(R5年度)の重点目標値

- ・「体力合計点」を男子女子共に県平均かつ全国平均以上にする。
- ・新体力テストの総合評価ED率を20%以下にする。(昨年度の総合評価のED率は22.6%だった。)